

滝沢中央スマートインターチェンジ（I C）の 利用状況及び整備効果と今後の利用促進について

平成 31 年 4 月 20 日（土）に供用開始した東北自動車道 滝沢中央スマート I C について、供用開始 1 年後の利用状況及び整備効果と今後の利用促進についてお知らせします。

「滝沢中央スマート I C の利用状況について」

- 供用開始後 1 年間の累計利用台数は約 76 万台で、1 日の平均利用台数は約 2,000 台
- 令和 2 年 8 月までの累計利用台数は約 101 万台で、通して平均すると利用台数は約 2,000 台/日

「滝沢中央スマート I C の整備効果について」

- I C アクセス時間の改善による居住者・就業者の利便性の向上
利用者アンケート調査結果で約 8 割の方が「移動時間が短くなった」と回答したように、高速道路アクセス 10 分圏内がほぼ市内全域（約 9 割）に拡大したことにより（開通前は約 6 割）、I C アクセス時間が短縮され利用者の利便性が向上した。
- 交通分散による渋滞緩和
交通分析結果により、本スマート I C 開通後に渋滞回避のため一般道から高速道路へ転換していることが確認された。よって、高速道路へ交通量が分散され周辺道路の渋滞緩和に寄与している。
- 産業施設・強化に向けての地域経済活動の基盤整備
周辺企業ヒアリングの結果、高速道路へのアクセス時間短縮、交通渋滞の緩和や交通事故リスクの軽減について効果が感じられており、地域産業活動の支援に寄与している。
- 搬送時間短縮による地域の救急医療支援
消防署ヒアリングの結果、救急搬送時間の短縮、患者への振動負担の軽減が図られ、迅速な救急活動に寄与している。

「今後の利用促進について」

- 市広報誌・ホームページを活用した情報発信
市広報誌（広報たきざわ）と市ホームページに利用状況や整備効果などについて掲載する。
また、周辺施設のアクセス方法として各ホームページに本スマート I C の位置や距離・所要時間の掲載依頼を行う。
- 各種 PR 活動の実施
滝沢市産業まつりなどイベントへの出展など、PR 活動を引き続き実施していく。
- 周辺道路の交通流動観察
各道路管理者や交通管理者との連携強化に努め、現状のまま経過観察を行う。今後、交通渋滞などの問題が発生した場合は、状況に応じて交通量や渋滞などの実態調査を実施し、改善策について検討する。

今後も P D C A サイクルにより継続的にフォローアップし、更なる利用促進を図る。

お問い合わせ先

担 当：滝沢市 都市整備部 都市政策課

電話番号：019-656-6543 E-mail：koutsu@city.takizawa.iwate.jp